

## 第5回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年7月14日（月曜） 午前 9時30分		
	休憩時間 10:20-10:20 10:30-10:42 10:50-10:56		
	午前 11時03分		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	議長 広瀬重雄
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
	委 員 高橋 源		
説明等に 出席した 者の氏名	住民生活課長：弦巻 潔		
	生活環境係長：鈴木昭博		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開 会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。			
2 議 件			
(1) 調査事項			
ア 資源ごみの持ち去りの現状について			
3 その他			
(1) 次回委員会の開催日時について			
(2) その他			
<hr/>			
2 議 件			
(1) 調査事項			
ア 資源ごみの持ち去りの現状について			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・弦巻住民生活課長の説明後、質疑を行う。</li> <li>・吉田委員： 芽室町が H25 で分担金から 3,570 千円除かれているとのことであるが、町の損害はどのくらいなのか。</li> <li>・弦巻課長： 把握していない。</li> <li>・吉田委員： 札幌市は、条例制定以降、減少しているのか。</li> <li>・弦巻課長： 当時、顧問弁護士からの情報であるが、それ以降は把握していない。</li> <li>・吉田委員： 施錠されているものは、持ち去られているかどうか。</li> <li>・弦巻課長： 施錠されているものは、窃盗にあたりと考えている。</li> <li>・唯野委員： ごみステーションの場を、町の指定地として設定できないか。</li> </ul>			

- ・鈴木生活環境係長： ごみステーションは町で委託している収集の場であり、資源物として、廃棄物として位置づけている。収集庫と同じようにはならない。
- ・唯野委員： 資源ごみとして取り扱えば、同様にできるのではないか。
- ・鈴木係長： ステーションに置いたごみは、所有権を放置したものである。町内に約3000か所ステーションであるが、私有地もある。
- ・弦巻課長： 私有地は明らかに窃盗である。町有地については、全国の裁判でも1審、2審と見解が異なっているが、弁護士の見解についてはごみである。弁護士の見解どおり、町としては動いていない。
- ・高橋（仁）委員： 資源回収庫からの持ち去りはあるか。
- ・鈴木係長： 8年ほど前に農村部ではあり、警察にも被害届はある。
- ・高橋（仁）委員： 広域では話題にはならないのか。
- ・弦巻課長： 環境複合事務組合で会議に付されたことはない。
- ・高橋（仁）委員： 顧問弁護士の見解では、資源回収庫に入れることがふさわしいとある。資源回収庫の助成額を引き上げる考えはないか。180×180×90センチだと12万円で収まる。

#### 自由討議

- ・高橋（源）委員： 議論が、資源回収庫とステーションと混じっていると考える。ごみステーションの中に資源物がある。
- ・唯野委員： ごみステーションのあり方を考えるべきではないか。
- ・高橋（仁）委員： ごみステーションのあり方と資源回収庫を奨励すべきではないか。
- ・吉田委員： 持ち去りは、町民とも問題と思っているので、解決しなければならない。町の方法では解決できない。条例化なども視野に入れるべき。
- ・高橋（源）委員： 町のごみは減少しているようだが、ごみステーションのあり方については考えるべき。ごみステーションへの袋もレジ袋でいいのではないか。
- ・委員長： ごみステーションのあり方を議件とし、継続して調査する。

### 3 その他

#### (1) 次回委員会の開催日時について

平成26年7月23日（水曜）臨時会議終了後

#### (2) その他

- ・事務局長： 「資源ごみの持ち去り」を議会政策形成サイクルの事業の1つとして調査しているが、他の事務事業についても委員会から能動的に調査すべき。資源ごみの持ち去りについて、視察するかどうかについては、補正予算計上のタイミングもある。

以上をもって、特別委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	1名	合計	3名
記載のとおり報告する。						
平成26年7月14日						
厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎						